

機械設備調査算定要領の一部改正《新旧対照表》

【現行】平成28年3月11日 改正

【改正】令和2年3月18日

改正後	現 行
<p>別添1 機械設備図面作成基準</p> <p>(第1、第2 略)</p> <p>(用紙)</p> <p>第3 図面の大きさは、原則として、日本<u>産業</u>規格A列3番横とする。</p> <p>(第4条から第7 略)</p> <p>(図面表示記号)</p> <p>第8 図面に表示する記号は、原則として、<u>産業標準化法</u>(昭和24年法律第185号)第11条により制定された日本<u>産業</u>規格(JIS)の図記号を用いる。</p> <p>(第9から第11、別表 略)</p>	<p>別添1 機械設備図面作成基準</p> <p>(第1、第2 略)</p> <p>(用紙)</p> <p>第3 図面の大きさは、原則として、日本<u>工業</u>規格A列3版横とする。</p> <p>(第4条から第7 略)</p> <p>(図面表示記号)</p> <p>第8 図面に表示する記号は、原則として、<u>工業標準化法</u>(昭和24年法律第185号)第11条により制定された日本<u>工業</u>規格(JIS)の図記号を用いる。</p> <p>(第9から第11、別表 略)</p>
<p>別添2 機械設備工事費算定基準</p> <p>(第1から第3 略)</p> <p>(工数歩掛)</p> <p>第4 本基準に定めのない工数歩掛等は第4、次の優先順位により採用するものとする。</p> <p>一 公共建築工事積算基準((<u>一財</u>)建築コスト管理システム研究所発行)</p> <p>二 建設工事標準歩掛((<u>一財</u>)建設物価調査会発行)</p> <p>三 工事歩掛要覧((<u>一財</u>)経済調査会発行)</p> <p>四 <u>下水道用設計標準歩掛表((公社)日本下水道協会発行)</u></p> <p>五 これらと同等であると認められる公刊物に掲載されている工数歩掛等</p> <p>六 専門メーカー等から見積を徴するなど、その他適切な方法</p> <p>(第5から第23 略)</p> <p>(別表1から別表3、様式1-①、様式1-② 略)</p>	<p>別添2 機械設備工事費算定基準</p> <p>(第1から第3 略)</p> <p>(工数歩掛)</p> <p>第4 本基準に定めのない工数歩掛等は第4、次の優先順位により採用するものとする。</p> <p>一 公共建築工事積算基準((<u>財</u>)建築コスト管理システム研究所発行)</p> <p>二 建設工事標準歩掛((<u>財</u>)建設物価調査会発行)</p> <p>三 工事歩掛要覧((<u>財</u>)経済調査会発行)</p> <p>四 <u>下水道工事積算基準((財)下水道新技術推進機構発行)</u></p> <p>五 これらと同等であると認められる公刊物に掲載されている工数歩掛等</p> <p>六 専門メーカー等から見積を徴するなど、その他適切な方法</p> <p>(第5から第23 略)</p> <p>(別表1から別表3、様式1-①、様式1-② 略)</p>
<p>様式第2 機械設備算定内訳書(総括表)</p>	<p>様式第2 機械設備算定内訳書(総括表)</p>

消費税等相当額

$$F \times \text{税率} = (G)$$

(以下 略)

消費税等相当額

$$F \times \text{5\%} = (G)$$

(以下 略)